

令和4年9月

天草エアライン株式会社の経営状況を
説明する書類

熊 本 県

目 次

令和3年度決算に関する書類

- 1 事業報告・・・・・・・・・・ 1
- 2 決算報告
 - (1) 損益計算書・・・・・・・・ 4
 - (2) 貸借対照表・・・・・・・・ 5

令和4年度事業計画に関する書類

- 1 事業計画・・・・・・・・・・ 7
- 2 収支予算書・・・・・・・・・・ 8

令和3年度決算に関する書類

1 事業報告

天草地域は、熊本県の中心地である熊本市からの移動に2時間以上を要するなど、地理的状況が離島地域と類似する条件不利地域である。そのため、平成12年3月から、熊本県、天草市、上天草市、苓北町等が出資をし、天草地域の唯一の高速交通機関として、天草エアラインが運航を開始した。現在、福岡空港、阿蘇くまもと空港及び大阪国際（伊丹）空港に就航しており、地域住民の生活、地域の医師確保を含めた地域のライフラインの一つとして必要不可欠な存在となっている。

当期においても安全運航を第一に、平成30年度から開始した日本エアコミューター株式会社（鹿児島県）と整備業務の管理の受委託により、長期運休の回避や整備品質の一層の向上を通じて、定時性の確保を図り安定運航に努めた。

新型コロナウイルスの影響により、感染が拡大した時期については減便運航を実施し、厳しい経営を余儀なくされたものの、費用削減のほか、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた新たな利用促進策に取り組んだ。

運航状況については、自社都合による欠航便数が前年より増加した一方で天候不順等の不可抗力による欠航便数は減少し、就航率は91.1%（対前年比0.4ポイント増）となった。また、利用者数（有償旅客数）は前期を大幅に上回る37,958名（対前年比158%）、利用率は25.7%（対前年比6.4ポイント増）となった。

決算状況については、ヘリ収入等も含めた総売上高が4億9,727万円（対前年度比153.5%）となり、前期を大きく上回った。

営業費用は、燃料費や航空機の整備費用の増加等のため、13億8,068万円（対前年度比127.1%）となった。

経常利益は▲8億8,075万円（対前年比118.8%マイナス幅拡大）となったものの、県と2市1町で協調し実施した経営支援や機材整備費補助金等の特別利益により、当期純利益は2,267万円（前年度1億5,825万円）となり、2年連続で黒字決算となった。

（参考）過去5年の利用状況及び決算状況

（単位：人）

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数 （有償旅客数）	77,041	73,773	46,291	24,028	37,958
利用率 （有償搭乗率）	49.8%	49.3%	41.0%	19.3%	25.7%
就航率	95.1%	90.2%	87.9%	90.8%	91.1%

（単位：千円）※四捨五入

	H29	H30	R1	R2	R3	主な増減理由(R3-R2)
売上高	815,596	771,884	565,587	323,994	497,270	旅客収入+136,118(有償旅客数約14,000名増)
営業費用	944,462	1,232,685	1,132,291	1,086,048	1,380,685	運航変動費(燃料費等)+47,382、整備費用+200,686
営業利益	▲128,867	▲460,801	▲566,704	▲762,054	▲883,415	
営業外収入	116	1,430	17,815	20,815	2,669	
営業外費用	18	0	14	0	0	
経常利益	▲128,769	▲459,372	▲548,903	▲741,239	▲880,746	
特別利益	212,833	472,994	386,242	943,770	980,034	補助金収入+36,408
特別損失	2,250	1,587	0	5,033	66,849	補助金圧縮特別勘定繰入額+64,599
法人税・住民税 及び事業税	26,558	6,404	3,611	39,245	9,766	
当期純利益	55,257	5,631	▲166,272	158,252	22,673	
繰越利益	▲102,119	▲96,488	▲262,760	▲104,507	▲81,835	

【会社の概要】

令和4年7月1日現在

1. 会社の名称等

- (1) 商 号 天草エアライン株式会社
- (2) 設立年月日 平成10年10月12日設立登記
- (3) 本店所在地 熊本県天草市五和町城河原1丁目2080番地5
- (4) 開 業 平成12年3月23日

2. 株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 39,920株
- (2) 発行済株式総数 9,980株
- (3) 資本の額 499,000千円
- (4) 株主数 31名

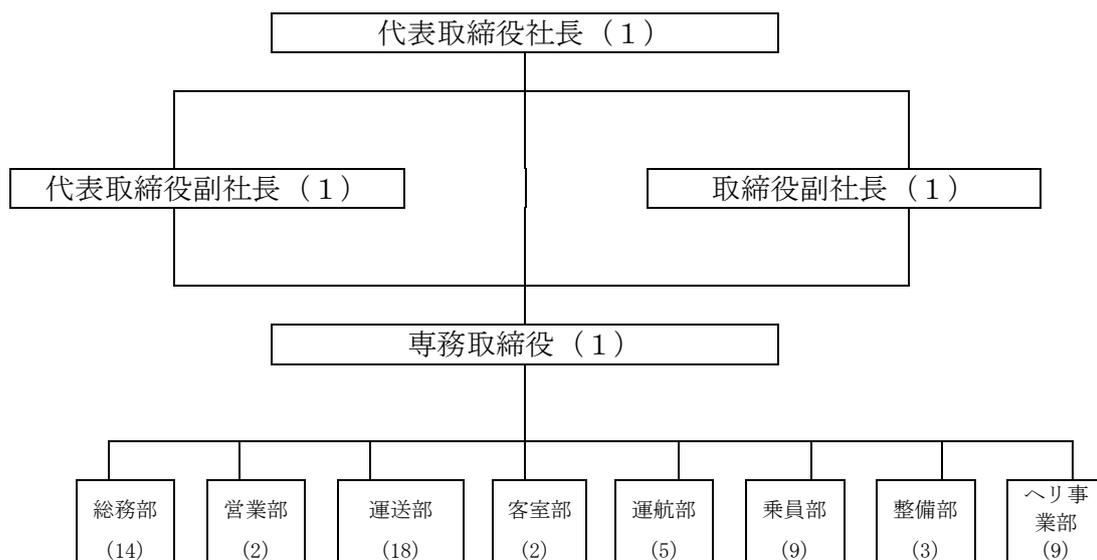
- (5) 株主の状況 (単位：千円)

区分	出資者	出資額	区分	出資者	出資額
自治体	熊本県	266,000	民間企業・団体	九州電力(株)	20,000
	天草市	114,400		(株)肥後銀行	20,000
	上天草市	13,600		(株)福岡銀行	10,000
	苓北町	6,000		日本航空(株)	10,000
				天草信用金庫	5,000
				熊本国際空港(株)	5,000
				九州産業交通ホールディングス(株)	3,000
				ほか地元関連20企業・団体	26,000
	小計	400,000		小計	99,000
合 計				499,000	

3. 取締役及び監査役の氏名及び主な職業

職	氏名	主な職業
代表取締役社長	永岡 真	
代表取締役副社長	馬場 昭治	天草市長
取締役副社長	清田 克弘	熊本県企画振興部交通政策・統計局長
専務取締役	寺田 宏之	
取締役	堀江 隆臣	上天草市長
取締役	山崎 秀典	苓北町副町長
取締役	新原 昇平	熊本国際空港(株)代表取締役社長
取締役	池田 誠	(株)肥後銀行取締役常務執行役員営業統括部長
取締役	國武 久芳	(株)熊本銀行常務執行役員
取締役	森 敬輔	九州産業交通ホールディングス(株)代表取締役社長
取締役	小山 薫堂	放送作家、脚本家、会社社長
取締役	池崎 一彦	(株)中村建設代表取締役社長
		(12名)
監査役	山田 清和	天草信用金庫会長
監査役	松岡 正之	熊本県天草広域本部長
		(2名)

4. 組織体制



※日本エアコミューター株式会社（JAC）との整備管理受委託開始に伴い、整備士6名がJAC社へ出向の扱いとされ、総務部付となっている。（出向者は天草基地に配備。）

2 決算報告

(1) 損益計算書

自 令和3年4月1日 至 令和4年3月31日 (単位：円)

【営業損益の部】

[営業収益]

売上高 497,269,629

[営業費用]

[売上原価]

燃料費・整備費 676,298,547

事業労務費 275,012,188

事業諸経費 345,231,596

その他収入原価 314,000

売上総利益(損失) △799,586,702

[販売費及び一般管理費]

販売費及び一般管理費 83,828,663

営業利益(損失) △883,415,365

【営業外損益の部】

[営業外収益]

受取利息 4,296

為替差益 76,812

雑収入 2,588,372

経常利益(損失) △880,745,885

[特別利益]

補助金収入 979,733,771

寄付金収入 300,000

[特別損失]

役員退職慰労金 2,250,000

補助金圧縮特別勘定繰入額 64,599,346

固定資産除却損 1

税引前当期純利益 32,438,539

法人税、住民税及び事業税 9,765,800

当期純利益 22,672,739

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

資産の部		
科目	摘要	金額
現金及び預金		69,626,188
営業未収入金	クレジット、旅行代理店等の売掛金等	42,223,666
貯蔵品	GSE（地上支援機材）部品等	6,464,334
前渡金	航空燃料代前払金等	20,028,903
前払費用	航空機機器データベース更新料等	2,237,506
立替金	ヘリ燃料代等	22,193,038
仮払金	出張仮払い等	100,000
未収入金	補助金収入等	116,350,195
未収還付法人税等		5,694,500
未収還付消費税等		47,900,615
建物	機材部品整備用施設	23,233,022
建物付属設備	事務所間仕切り等	853,622
車輛運搬具	整備用車両等	849,048
器具及び備品	耐火金庫、防犯用ネットワークカメラ等	40,498,456
航空機	ATR 残存価格（機体本体は圧縮記帳）、部品	219,016,451
電話加入権	N T T 専用回線（予約・運航等）	1,747,200
ソフトウェア	予約システム改修等	22,493,668
出資金	天草信用金庫、LLP、熊本県旅行業協同組合	700,000
敷金	社宅敷金	437,800
差入保証金	国際航空給油保証金等	3,200,000
預託金	社用車リサイクル預託金	44,800
開発費	コードシェア開発、シミュレーター改修	51,584,377

資産の部合計	697,477,389
--------	-------------

負債の部		
科目	摘要	金額
短期借入金	天草市からの短期借入	50,000,000
未払金	航行援助施設利用料、着陸料等	104,545,601
前受金	クレジット、旅行代理店等	15,845,570
預り金	健康保険料、厚生年金等	2,474,196
未払法人税等		2,395,800
退職給付引当金		39,889,132
役員退職慰労引当金		562,500
国庫補助金圧縮特別勘定	補助金により購入した施設・設備等の一部	64,599,346
	計	280,312,145

純資産の部		
資本金		499,000,000
繰越利益剰余金	当期末処分利益（損失）	△81,834,756
	（うち当期純利益）	22,672,739
	計	417,165,244

負債・純資産の部合計	697,477,389
------------	-------------

令和4年度事業計画に関する書類

1 事業計画

(1) 事業方針

令和4年度においても、法令や運航・整備規程等を遵守し、引き続き安全運航を第一に、定時性及び利便性の確保・向上に努めていく。

天草エアラインは、県外からの医師の通勤手段として利用されているなど、天草地域における社会活動、経済活動にとって重要な役割を果たしているが、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度に引き続き、今年度においても厳しい経営状況となる見込みであるため、県や地元自治体等の関係機関と連携し、必要な感染予防対策を講じた上で各種利用促進策を推進する。

併せて、令和3年度に策定した中期経営計画に掲げる6本の柱を軸に、これらを実現していく為の各種取り組みを進め、経営基盤の強化、改善を図る。

また、EAS LLP（地域航空サービスアライアンス有限責任事業組合）を活用し、大手2社とのコードシェアの実現等、他社との協業の深化・拡大によって、利便性の向上を図る。

さらに、天草地域の少子高齢化の進行や人口減少といった外的環境の悪化、航空業界を取り巻く環境の変化など、引き続き厳しい経営環境が予測されることから、関係機関と一体となって安定運航の確保及び利用率の向上に向けた取り組みを進める。

(2) 事業内容

ア 運航計画

天草～福岡3往復／日、天草～熊本1往復／日、熊本～大阪1往復／日

イ 利用促進

県・地元自治体をはじめ、天草空港利用促進協議会、地元観光協会、企業・団体、県人会等と緊密な連携を図りながら、利用促進活動を行う。

○ビジネス需要喚起

自治体、サポータークラブ企業、株主企業、各種団体等への訪問営業による情報や意見の収集と利用促進

○観光需要喚起

- ・天草空港利用促進協議会等と連携したイベント参加、SNS、動画、メディア等を活用した観光プロモーションで天草観光の情報を発信。
- ・天草エアラインの機体と同色のオープンカーで天草の観光地を巡る旅行商品である「天草ドルフィントリップ」の情報発信。
- ・旅行業登録による、旅行商品の内容拡充や地域交流人口の拡大を促すツアーの実施。

○その他

地域のスポーツ大会等との連携・協賛、地域のイベントや新たな取り組みとの連携による交流人口の拡大等、スポーツ、文化・教育分野に関する利用者の需要創出を図っていく。

2 収支予算書

損益計算書

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日 (単位：円)

【営業損益の部】

[営業収益]		
[売上高]	619,750,000	
[営業費用]		
[売上原価]		<u>1,324,291,000</u>
売上総利益（損失）		△704,541,000
[販売費及び一般管理費]		
販売費及び一般管理費		<u>88,572,000</u>
営業利益（損失）		<u>△793,113,000</u>

【営業外損益の部】

[営業外収益]		0
[営業外費用]		<u>0</u>
経常利益（損失）		△793,113,000
[特別利益]		
補助金収入	589,817,000	
特別利益合計	589,817,000	
[特別損失]		
特別損失合計		<u>563,000</u>
税引前当期純利益		<u>△203,859,000</u>